

News Release

2014年9月2日

株式会社日立システムズ

**日立システムズ「希望の響き」シリーズ
東日本大震災復興祈念チャリティーコンサート
「仙台フィル チャイコフスキー物語」開催のお知らせ**

株式会社日立システムズ(代表取締役 取締役社長:高橋 直也、本社:東京都品川区/以下、日立システムズ)は、東北放送株式会社(代表取締役社長:一力 敦彦、本社:宮城県仙台市/以下、TBC 東北放送)との共同主催により、2014年11月14日(金)に日立システムズホール仙台のコンサートホールにおいて、「希望の響き」シリーズ「仙台フィル チャイコフスキー物語」を開催します。

日立システムズは、東日本大震災発生直後から、IT サービスを通じた復旧・復興支援やボランティア活動等を通じた生活・環境面での支援に取り組んでいます。昨年7月には、仙台市が東日本大震災からの復興に向けた自立的な財源確保施策の一環として実施した提案型ネーミングライツ(施設命名権)を取得し、「仙台市青年文化センター」の愛称を「日立システムズホール仙台」としました。これにより、仙台市の施策を通じた地域復興に貢献するとともに、日立システムズホール仙台を活用したさまざまなイベントや施策を「希望の響き」シリーズとして展開し、文化面からの復興支援に取り組んでいます。

今回はその一環として、日立システムズホール仙台を拠点に被災地のオーケストラとして音楽を被災者のもとに届けながら絆を紡ぐ活動を展開している仙台フィルハーモニー管弦楽団(仙台フィル)とのコラボレーションにより、クラシック音楽初心者にも親しみを持って聴いていただけるコンサートを開催します。誰もが聞き覚えのあるチャイコフスキーの名曲の数々を彼の生涯の物語とともに演奏します。また、地元仙台で活動している仙台放送合唱団、東北福祉大学吹奏楽部も参加し、繊細で美しい「希望の響き」を東北にお届けします。

なお、収益の一部は震災復興支援のために寄付します。

■コンサート概要

項目	内容
名称	日立システムズ「希望の響き」シリーズ「仙台フィル チャイコフスキー物語」 東日本大震災復興祈念チャリティーコンサート
開催日時	2014年11月14日(金) 開場 18:30 開演 19:00 (21:00 終了予定)
会場	日立システムズホール仙台 コンサートホール 〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 (仙台市営地下鉄旭ヶ丘駅2東1番出口より徒歩3分)
料金	全席指定・税込 S席 4,000円 A席 3,000円
出演	仙台フィルハーモニー管弦楽団(指揮:下野竜也、ヴァイオリンソロ:米元響子)、 仙台放送合唱団、東北福祉大学吹奏楽部
演奏曲	バレエ音楽「白鳥の湖」から「情景」「ワルツ」「フィナーレ」、 ソロ・ヴァイオリンとオーケストラのための「憂鬱なセレナード」、 交響曲第4番第4楽章、イタリヤ奇想曲、交響曲第6番「悲愴」第4楽章、序曲「1812年」(合唱付き)
主催	株式会社日立システムズ、TBC 東北放送
共催	日立システムズホール仙台(公益財団法人仙台市市民文化事業団)
後援	仙台市、河北新報社

■仙台フィルハーモニー管弦楽団のコメント

2013年7月、「仙台市青年文化センター」の愛称が「日立システムズホール仙台」になりました。その後、ホールを活用した日立システムズ主催のイベントが次々と展開されています。これは、ただホールの呼び名を変えただけではなく、震災からの1日も早い復興に寄与しようとする日立システムズとしての強い意志表示だと感じています。

仙台フィルは、日立システムズが展開する「希望の響き」シリーズに共感し、今年4月21日に開催された千住明氏、石井竜也氏を迎えての「Hitachi Systems HEART TO HEART～千住明コンサート」に続いて、このたび「仙台フィル チャイコフスキー物語」に出演させていただくこととなりました。繊細な心で数多くの美しいメロディーを残したロシアの作曲家チャイコフスキーの生涯を紐解く解説とともに、親しみやすい音楽をご紹介します。

仙台フィルは、被災地のオーケストラとして、日立システムズが取り組む文化面からの復興支援活動の趣旨や思いを共有し、復興へ向けた歩みを共にさせていただきます。

■チケット発売日

2014年9月5日(金)10:00～

■プレイガイド

- ・藤崎／仙台三越
- ・日立システムズホール仙台1階窓口
TEL:022-727-1875(平日 9:30～17:00)
TEL:022-276-2110(平日 17:00以降および土日祝日 9:30～19:30)
- ・イズミティ21
TEL:022-375-3101(9:30～19:30、休館日を除く)
- ・チケットぴあ
TEL:0570-02-9999(音声自動応答) Pコード 242-186 <http://t.pia.jp/>
- ・ローソンチケット
TEL:0570-084-002 Lコード 28847 <http://l-tike.com/>
※演劇・クラシック専用オペレーター予約 TEL:0570-000-407(10:00～20:00)
- ・イープラス <http://eplus.jp/>
- ・TBC 事業部(通信販売)
TEL:022-227-2715(平日 9:30～17:30)

■仙台フィルハーモニー管弦楽団について

1973年創立。日立システムズホール仙台での定期演奏会(年間9回18公演)をはじめ、東日本エリアを中心に年間約110公演に及ぶ演奏活動を展開。仙台国際音楽コンクールや仙台クラシックフェスティバルへの出演など、本拠地である仙台の音楽文化の振興に大きく貢献している。大震災後は、音楽を被災者のもとに届けながら絆を紡ぐ活動も展開し、2011年度エクソンモービル音楽賞洋楽部門本賞と渡邊暁雄音楽基金特別支援を受賞した。2013年3月には独立行政法人国際交流基金の依頼によりロシアで被災地の代表として演奏し、震災後に世界から寄せられた支援への感謝の気持ちと、復興に向かう被災地を音楽の力で支え続ける楽団の姿を伝え、その大役を果たした。常任指揮者にパスカル・ヴェロ氏、首席客演指揮者に小泉和裕氏、ミュージック・パートナーに山田和樹氏が就任している。

■仙台放送合唱団について

1943年、NHKでの放送を主たる活動として発足。その後、一般合唱団として再編成し、1999年、合唱団体としては初めて「宮城県芸術選奨」を受賞した。2013年には、創立70周年記念定期演奏会「J.S.Bach ヨハネ受難曲」を開催。現在、団員数は約50名。常任指揮者は、佐藤淳一氏。震災後は、市民の苦労を音楽で癒し、力を届けるべく、仙台の市街(アーケード等)のスペースでコンサートを開催するなど、復興支援にも力を注いでいる。

■東北福祉大学吹奏楽部について

1978年に金管アンサンブルより改組発足。1995年からは、仙台フィルハーモニー管弦楽団トロンボーン奏者の松崎泰賢氏を音楽監督として迎え、活動している。2000年には、全日本吹奏楽コンクール全国大会に初出場。2003年～2005年、2007～2009年の間に3年連続全国大会出場を果たしている。震災後は、アンサンブルで独自にコンサートを行うなど、復興支援活動も展開している。

■関連情報

- ・日立システムズ 復興支援への取り組み(動画)：http://www.youtube.com/watch?v=_U-9A_d5g-Y
- ・日立システムズ「希望の響き」シリーズサイト：<http://www.hitachi-systems.com/company/hibiki/>
- ・仙台市青年文化センターの提案型ネーミングライツ優先交渉者に決定：
<http://www.hitachi-systems.com/news/2013/20130416.html>

■TBC 東北放送について

東北放送株式会社は、宮城県をサービスエリアとしてテレビ放送、ラジオ放送を提供する基幹放送事業者です。国民の共有財産である電波・放送に携わる者として、地域への感謝の気持ちを忘れることなく、地域密着・自主自立の報道姿勢を貫いています。

詳細は、<http://www.tbc-sendai.co.jp/> をご覧ください。

■日立システムズについて

株式会社日立システムズは、幅広い業務システム的设计・構築サービス、強固なデータセンター基盤を活用したアウトソーシングサービス、全国約300か所のサービス拠点とコンタクトセンターによるお客さまに密着した高品質な運用・保守サービスを強みとするITサービス企業です。日本のIT黎明期から先駆的に取り組んできたITサービスの実績・ノウハウを生かし、システムのコンサルティングから構築、導入、運用、保守まで、ITのライフサイクル全領域をカバーするワンストップサービスを提供しています。そして、ITの枠組みを超えてお客さまに新たな価値を創造し、お客さまからすべてを任せただけのグローバルサービスカンパニーをめざしています。

詳細は、<http://www.hitachi-systems.com/> をご覧ください。

■報道機関のお問い合わせ先

株式会社日立システムズ CSR本部 コーポレート・コミュニケーション部 杉山、住川

〒141-8672 東京都品川区大崎一丁目2番1号

TEL:03-5435-5002(直通) E-mail: press.we@ml.hitachi-systems.com

以上